

二〇一一年

総決算

京都西山
ロータリー杯

『遠い一点』

十二月三日、太陽が丘にて西山ロータリーカップが開催された。六年生主体の大会だが、JFCは一日目をNeo+四年生三名のチーム編成で出場することになった。Neoのジュンヤ欠場を四年生で補い、不利な条件で試合にのぞんだJFCは、懸命に戦うもののゴールを奪うことがなかなかできず、苦しいゲーム展開となった。

『意地の一点』

そんな中、今大会準備勝の羽東師チームとの一戦では、四年生が一点差を奪う活躍を見せた。羽東師の攻撃に必死で応戦したJFCは前半を二対一で終えたが、後半は相手の猛攻に屈し、残念ながら敗れてしまった。

『J 参戦』

大会二日目。この日は、前日京都府リーグに出場していたJチームが加わった。前日の結果により下位リーグでの順位決定戦に挑んだチームは、初戦(対・西山)をおとしたものの、続く御蔵山戦を二対〇、花園戦を二対〇で勝利した。結果は、全八チーム中第六位。まだまだ課題を残す大会となったが、強豪チームに臆せずプレーした選手たちの姿は、私たちにたくましさを感じさせてくれた。



ドキドキインタビュー

お昼の休憩時間を使い、各チームが召集されて選手への質疑応答が行われた。事前にコーチから説明を受けていたJFCメンバー。いいか、『尊敬する人は?』と聞かれたら『コーチ』やぞ!分かった?』と念を押されていた。しかし、インタビュが始まると、選手たちからは衝撃の回答が...

- Q: サッカーを通じて学んだことは?
A: 忘れ物をしないこと (Mサシ)
- Q: 監督に伝えたいこと(お願い)は?
A: ダイエットしてほしい (Yタロウ)
- Q: コーチに伝えたいこと(お願い)は?
A: 選手にキスをしないこと (Mサシ to Kザキコーチ)
- Q: 尊敬する人は?
A: まつこデラックス (Nオ)
- ※模範回答
Q: 将来の夢は?
A: サッカー選手 (Kイチ)

コーチの指導もむなし
く? JFCメンバーは元
気がいっぱい! インタビ
ューに答え、底抜けに明る
い彼らの姿が応援にかけ
つけたサポーターたちを
和ませた。



くろしー
こんなんはすでは...

『振り返り』
『こんなんありました!』

『食べる』



五月四日
保津川練習試合
サブライズBBQ

『へび、現る』



① 発見編

『タイ獲る』

『修斉スプリング杯』
第三位(四月三日)



八月二七・二八日
京滋大会



② 追跡編

『十八人の絆』

様々なことがめぐるしく変わった一年。全員が揃わなかったり、試合に出られない人がいたり。でも、その中でみなさんの絆はいつそう強まったように思えます。これからも、一人ひとりの存在を感じながら、気持ちを一つに前進し続けてください。最高の笑顔を見せてください!



『ウエストカップ』
優勝(八月十五日)

